

日本全国！ 働くママ file ⑦

働くママの日常にスポットをあて、子育ての工夫や楽しみ方を探るシリーズ。7回目となる今回は、福岡市で自宅でwebショップを営むママの登場です。



ご近所のみなさんの
気兼ねないサポートは
本当に助かっています

福岡市東区

只松美恵子さん・42歳

webショップオーナー&コーディネーター

●小5女・小3男

会社役員の主人と小学5年の長女、小学3年の長男の4人家族です。私の両親も市内に住んでいます。主人の両親は、子どもが自転車ですら15分ほどの距離なので、かなり助けてもらっています。実は、息子が1歳の時に、私の脳に腫瘍が見つかりました。膝の上で息子をあやしていた時にゴツンと息子の頭とぶつかったのですが、それが痛くてたまらなくて病院に駆け込みました。そこで脳腫

? ご家族について 教えてください

傷と診断されました……。当時は何の知識もありませんでしたから、もう長くは生きられない、子どもたちは誰に託せば……と真剣に考え込みましたね。幸い、手術は成功し、あれから8年経ちますが、今は後遺症もなく元気に過ごしています。

? お仕事の内容を 教えてください

手術後、子育てをしながら、家では何かできないかと考えていました。私自身、日本の子ども服があまりにもお母さんの服と合わないことや、

買い物を行くことがとても大変で困っていました。そこに着目し、インポートのお洋服をインターネットで販売できたら、楽しいだろうな、と。そこで、ホームページを立ち上げ、インポートの子ども服のwebショップ「ファンファール」(www.fanfare-fanfare.com)で、私が気に入った洋服を販売するというスタイルを取りました。

いつでも誰にでも見ていただけるというホームページのメリットはありましたが、子供服を取扱うだけに、サイズや着心地、着回しなど、お問

★只松さんのスケジュール

6:30	起床
7:30	朝食
8:00	子どもとご主人を送り出し、メールチェック 掃除や洗濯の合間に打ち合わせの準備や 商品発送の準備
12:00	ランチを兼ねたミーティング その後、打ち合わせ
17:30	買い物を済ませて帰宅
19:00	夕食
21:00	入浴 ご主人が帰宅 家族団楽
22:00	子どもたちを寝かしつける
22:30	企画書作成やHPの更新、メールチェック
25:00	就寝



★只松さんのかばんの中身

携帯電話は、画像のやり取りにも便利なiPhoneを使用。作家さんの作品をクライアントに紹介する際などとても重宝していますね。基本的に身の回りのものは、使い勝手がよく長く愛用できるものをセレクト。ボールクロスのペンは、有りそうでなかった長さに一目惚れ。グリップが皮なので手に馴染んでくれます。

合せが非常に多くなりました。それにひとつひとつ対応することに、とても気を配りました。

4〜5年前からは、子育て中のお母さんたちにオシャレを提案していきたいとアクセサリーや帽子のPRにも携わっています。私が好きだと思ったものをみなさまへというのがポリシーで、これ素敵！ かわいいんじゃない？ と思ったものをショップで提供すると共に、ファッションビルのコーディネートやイベントも手掛けています。

? 働きながらの子育てで大変なことは？

webショップですから、メールの返信や発送には、とても気を使います。お客さまにとって見れば注文した後はすぐに届く、お金を払えばすぐに届くというのが当たり前。ご入金いただければ、何日後にお届けというお約束を自分の中でしっかり作って、それに間に合うように梱包し、発送準備をすることはかなり大変な作業でした。マッシュアップの良さは活かすけれども、デメリットはできるだけ排除して当たり前のやり取りができるお店にしたいと思って

いましたから、そこは頑張りました。子どもには、ちょっと辛い思いをさせてしまったかもしれないね。

ただ、お客さまとはご注文だけではなく、プライベートなやりとりも多く、お洋服のコーディネートはもちろんですが、子育てや時間の使い方などのご相談もすごく多かったですね。私もそんなお客さまの声に助けられてがんばることができました。仕事と子育て、それぞれの世界を

持てるということが私の精神衛生上、とてもプラスになっています。それぞれの時間にきちんと向き合えたことがいい影響を与えていると思います。やはり子どもから得るもの、ハッとさせるものが多いですからね。大変ではありますが、自分の中の精神的なメリハリがついていることは、最大のメリットです。

? 家事や子育てを、どう工夫していますか？

本当に周りの方々にすごく助けていただいています。特に、同じマンションのご近所さんは本当にありがたく、すごく助かっています。このマンションを選んだのは、ある雑誌で紹介されていたことがきっかけで

した。子どもたちが長家の風情で昔ながらに遊んでいるという内容で、本当にこんな雰囲気だったら素敵だなあと想着、まずは賃貸で入居しました。実際に暮らしてみると、本当に長家のおつきあいができるマンションでした。私が仕事でちょっと遅くなるような時には、ご近所の方が預かってくださったり、ご飯を食べさせてくださったりと、子どもを育てるにはめちゃくちゃいい環境だと実感できたので、1年半後、偶然同じフロアに空きが出た時は、即決購入しました。このマンションでなかつたら、もっと両親にお願いする

ことが増えていたと思います。子どもたちに大切にしてほしいと願っていることは、「誰に対しても、してくれていることに当たり前と思わないで、ありがとう、と相手に態度で感謝を示すこと」でしょうか。ママがご飯作るの当たり前ではないし、先生が勉強を教えてくれることも当たり前じゃない。ひとつひとつ、相手に対して思いやりと感謝の気持ちを持つこと。日々のことになりがとうと言える素直さ、感謝の気持ちを持ち続けて欲しいと思って日々、子育てをしています。

只松さんおススメ!

お役立ちの一品



tadamatsu's Recommend

フットスクラブ

我が家のマイブームになっているのが、足用のスクラブです。スクラブするよ、と声をかけると喜んでくれます。「足さん、一日がんばってくれてありがとう」と言いながら、子どもたちと一緒に足をマッサージ。ハーブ系の香りを選ぶと、気持ちもリラックスし、子どもたちとの話も弾みます。